

【エントリープログラム】（共創推進コース）カリキュラム詳細

コース	No.	プログラムテーマ	形式	想定講師	日時	目的	アウトライン
共創推進コース （自治体・企業・ 支援機関向け）	1	スタートアップとは	座学	有限責任監査法人 トーマツ	7月9日（火） 10:45～11:45	スタートアップの概要や特徴を、中小企業やベンチャー企業との比較も交えながら学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップとは ・中小企業やベンチャーとの違い ・スタートアップのステージと規模、各ステージにおける難所 ・自治体とスタートアップの育成・連携
	2	スタートアップとの連携の次なる一歩に向けた各種事業紹介	座学	有限責任監査法人 トーマツ	7月9日（火） 12:45～13:45	スタートアップとの連携に向けた次の一歩として活用可能な事業について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンイノベーションプラットフォームの紹介 ・NEXs Tokyoの紹介 ・Tokyo Innovation Baseの紹介
	3	スタートアップ・企業と自治体他との“官民共創”の意義	座学	株式会社 ソーシャル・エックス	7月9日（火） 14:00～14:45	社会課題解決の手段としての官民共創について、成功に導くためのHOWを解像度を上げて理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・官民共創による社会課題の解決が必要となった背景 ・自治体を取り巻く環境の変化 ・新しい資本主義やそれにつながる政府の方針 ・企業の動きと投資の動き ・海外における官民共創事例の紹介 ・官民共創でプロジェクトを進めるにあたって必要なことは
	4	スタートアップ・企業連携自治体による“官民共創”の事例紹介	パネルディスカッション	株式会社 ソーシャル・エックス	7月9日（火） 14:55～15:40	官民共創の事例を有する北九州市・豊田市の2つの自治体による講演に加え、ソーシャル・エックス伊藤氏との3者トークセッションを通じて、企業・スタートアップとの具体的な連携事例を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な自治体が官民共創を進めるに至った経緯 ・事例の紹介 ・庁内におきた変化 ・官民共創プロジェクトを進めるにあたり、ぶつかった壁とその乗り越え方
	5	現在・未来の社会課題の捉え方	座学	株式会社Ridilover	7月9日（火） 15:55～16:55	Ridilover、ポーダレス・ジャパン、PoliPoliの代表3名による社会課題トークセッションを通じて社会課題の解決方法に関する日本、世界の変化を知り、東京都での事業立ち上げのポイント学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題解決に関する日本社会の変化 ・社会課題解決に関する世界の変化 ・東京都における社会的事業の立ち上げポイント
	特別編	【都外開催/自治体職員限定/希望者のみ】 社会課題言語化ワークショップ	ワークショップ	株式会社 ソーシャル・エックス	【名古屋市】 7月19日（金） 13:00～17:00 @愛知学院大学 名城公園キャンパス 【福島市】 7月31日（水） 13:00～17:00 @コラッセふくしま ※その他都市で追加開催となりましたら、順次ご案内いたします。	身の回りの社会課題や自治体の困りごとのうち、企業の力を借りて解決すべきものを掘り起こす	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの課題について洗い出し、グループで意見を交わす ・洗い出した課題をカテゴリーにわけ、目線を揃える ・社会課題を企業視点に翻訳する